

NPO法人お産サポートJAPAN

総会 & 講演会

2018年7月7日(土) 13:30 ~ 17:00

聖路加国際大学 本館4階 402教室

東京都中央区明石町10-1

参加費: 会員 1,000円 学生 500円 一般 1,500円

プログラム

講演会(1) 13:30-15:30 1. HPVワクチン^(※1)被害と裁判の現状

東京訴訟弁護団事務局長 関口正人

2. HPVワクチン被害について

HPVワクチン被害者親(子)

講演会(2) 15:40-16:30 C型肝炎問題^(※2)

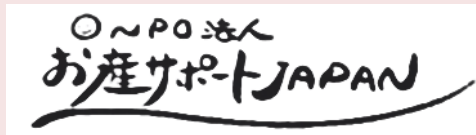
薬害肝炎全国弁護団代表 鈴木利廣

意見交換会 16:30-17:00

NPOお産サポートJAPANの課題の一つとして、女性の健康問題があります。その中で薬害の当事者の声を聴く機会として、前回「HPVワクチン被害者の声を聴く会」を開催しました。その後「世界のHPVワクチン被害状況」を知る機会となった国際シンポジウムに参加しました。そこで、世界中で起きた事実と真摯に向き合い、未来のお産と女性の健康のために、さらに正確な情報を共有する機会として今回企画しました。多くの方のご参加お待ちしております。

※1 HPVワクチン>HPV(Human papillomavirusの略)は子宮頸がんの原因とされるウイルスのことで、主に性交渉で感染します。HPVワクチンは他に、子宮頸がんワクチンとも呼ばれ、150種類以上あるHPVの型の中から特定の型の感染を予防するワクチンのことです。

※2 C型肝炎問題>C型肝炎はC型肝炎ウイルス(HCV)に感染(血液感染)により起こります。出産や手術の際に、適切なウイルスの処理がなされていない(HCVに汚染された)血液製剤の投与によってC型肝炎ウイルスに感染したことが発覚した時には『薬害C型肝炎』と呼ばれ、大きな社会問題になりました。感染により生命・身体的、社会的、財産的、精神的な損害を被った方々(本人またはご家族)が、販売を許可した厚生省(国)及び製薬会社に対し2002年に損害賠償を求め提訴し、2008年に薬害肝炎救済法が成立しました。



問い合わせ先: NPO法人お産サポートJAPAN 事務局
TEL/FAX 042-326-2414
E-mail info@osan-support-japan.net
<https://www.osan-support-japan.com/>